※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

カリキュラム・マネジメント実践部門

エントリー名:

大阪府立泉尾·大正白稜高等学校

活動名:

主タイトル:地域・外部・学校カリマネ 副タイトル:課題改善に三位一体で PDCA 実施

解決すべき課題:「公立校最後の砦」のセーフティネットとしての学校教育に様々な大人と社会が携わる

- ① 2018年に区内の2つの高校が再編統合し、普通科から総合学科へ、改編した学校の安定化と広報
- ② 経済的・学力的に課題のある生徒への学校・外部団体・地域社会による組織的サポート
- ③ 2016 年大阪市内で最も人口が少なく、高齢化率が高い地域社会にある学校として学校・地域活性化
- ④ 地元産業・企業への就職や地元サポート活動を行い、学校と地域社会の経済的・学力的基盤づくり。

目標・方針:学校だけでは解決できない課題を外部団体・地域社会の力を借りて解決する

- ① 総合学科の特色を生かし、学校はもとより、地域社会や外部団体と連携して様々な学習・体験サポート
- ② それぞれの活動を PDCA スパイラルアップでそれぞれが分担し多角的な側面で教員や生徒にフィードバック
- ③ フィードバック内容をカリキュラム・マネジメントに反映させ、創成期の学校の方向性や目標の設定
- ④ 教員だけでなく、地域社会に根差し、外部団体の協力で多様な側面から力を借りる「みんなの学校」づくり

活動内容:外部団体・地域社会の力をひとつにまとめカリキュラム・マネジメントを図ることが学校の役割

- ① 学力基礎の読解力育成のため「リーディング スキル」という独自科目を設定し、教員が免許教科を超えて 協力し指導と「教育のための研究所」の「リーディング スキル・テスト」による評価・フィードバック(資料1)
- ② NPO 法人 Fair Road の居場所カフェやキャリア・カウンセラーやスクールソーシャルワーカーが組織化し ての「教育保障チーム」の学校・外部団体全体連携による生徒への多方面からのサポート(資料2・3)
- ③ 立地する大阪市大正区との包括協定を結び行政や地域産業と相互助力による地域連携(資料4)
- ④ 地域産業や大学生との連携し「ものづくりフェスタ」「少年少女発明クラブ」など地域貢献(資料5)
- ⑤ 「できたことノート」により本校生徒自尊感情を醸成、ネットマン社とベネッセ教育総合研究所による共同調 査を実施(資料6)

活動の成果: 一般社会的価値観で教員が課題に取り組むことができるようになった

- ①「リーディング スキル・テスト」の WBT により、詳細な解答傾向分析、授業計画への効果的フィードバック
- ② 学校以外の大人との「ななめの関係」から中退の減少及び課題早期発見による教育の継続
- ③ 地域社会の学校施設利用や地域イベントへの生徒協力により地域イベントの活性と学校のイメージ向上
- ④ 「できたことノート」の効果分析を外部団体で分析することで、客観的分析を行い次の指導方法への参考と でき、効果的な継続ある改善がおこなえる

アピールポイント(アイディアや工夫):学校・地域社会・外部組織の三位一体での PDCA スパイラルアップ

- ① 学校・地域社会・外部組織の連携により固定化した価値観や保守的考えに刺激を与え変革(資料7)
- ② 地域社会・外部団体・学校がそれぞれ PDCA スパイラルアップを行い、相互に成長していく(資料 8)
- ③ 学校が原動力となり地域と外部同士がさらにつながる、地域コミュニティ教育としての古典的学校の役割
- ④ 99年の伝統校からの継承と脱却しカリキュラム・マネジメントへ
- ⑤ 「公立高最後の砦」との決意でセーフティネットとしての学校教育にも挑んでいる

※事務局記入欄

【様式2】

No. A-47

